

風話鈴香

発行所
 尼崎市小中島1-1-18
 社会福祉法人
 阪神共同福祉会 園田苑
 TEL06-6493-3731
 発行責任者
 理事長 中村 大蔵

私達の目指すもの

- 一、 地域に開かれた施設
 - 二、 入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
 - 三、 老人と共に生きがいを見い出す生活を
- 社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑

笑顔の花にかこまれて30年

平成30年10月12日金曜日、園田苑30周年記念式典が華やかに開催されました。150名近くの皆様にお越しいただきました。日頃の感謝とこれからも地域に開かれ、地域と共に歩む園田苑であり続ける決意を感じる時間となりました。

歌声も地域密着

オープニングを飾っていただいたのは、地元小中島出身の音楽家、李裕璃（り、ゆり）さんのソプラノと寺山尚さんのピアノ。「世界の国からこんにちは」「故郷の春」「花は咲く」等素敵な歌声に皆さんうっとり。お祝いの席に華を添えていただきました。

理事長より挨拶があり、来賓の紹介。長島愛生園からは真宗同朋会代表の鈴木幹雄さんが、遠く気仙沼からは気仙沼第二保育所の千葉陽子所長、畠山靖子副所長が来てくださいました。

稲村和美尼崎市長も来てくださいました。公務多忙のところ駆けつけてくださり本当にありがとうございます。

園田苑には欠かせないボランティアグループ「園」をはじめとして地域の方にもご案内させていただきました。大勢お越しいただきました。立ち見で参加していただいたり、用意していた式次第が足りず途中で印刷を追加する嬉しい悲鳴も。

特養家族会副会長の福井勇さんより挨拶があり、実母の福井美代子さんの乾杯で宴がスタートです。福井さんはとても緊張した様子でしたが「かんぱい」と力強く掛け声をいただきました。



【開会の挨拶を前に打ち合わせ】

宴たけなわの頃、法人の保育園の子どもたちにも大人気の「さわむらしげはるにこにこ楽団」の楽しい歌、心に染みる歌で会場が包まれ感動のひとときを過ごしました。ハチドリのように小さくの日々、

グループハウス20年

感謝の気持ちと共に

当日は、大勢の来賓とボランティアや居住者のご家族等で盛況でした。

居住されている方々も、笑顔の絶えない時間を過ごすことができたと思います。

乾杯の音頭をとっていただいた居住者は、始める前のお願いの時、「いろいろ言うわな！」とおっしゃっておられました。普段とは違う雰囲気緊張してしまっただけか「乾杯！」と一言だけで終わってしまい一気にその場が和んだものです。

一つずつ積み重ねることが大切と再確認しました。

日頃、地域でつながりのある皆さんは終了後も交流を続けていました。

お帰りの際、皆さんには30周年記念誌を受け取っていただきました。表紙の入居者前田富子さんの笑顔が素敵ですね。

皆さんの協力のおかげで大切な式典を無事に終えることができました。私自身周年式典の司会は何度かさせていただきましたが、節目の30周年という事でまた感慨もひとしおでした。今後園田苑をよろしく願います。

(奥島 崇)

居住者のご家族やお友達、スタッフの家族など、普段会えない方々もお祝いに来ていただき、和やかな雰囲気となりました。

2時間ほどの周年祭でしたが、ウクレレ演奏、紙芝居、オカリナ演奏など多くのボランティアに様々な催しをしていただきました。

グループハウス尼崎が始まって以来のお付き合いのウクレレ演奏ボランティア「ハーフムーン」の皆さん。

大きな紙芝居を用意していただいた紙芝居ボランティア「花みずき」の皆さん。

音楽ボランティア「海」の皆さんには、オカリナのすてきな音色を聞かせていただき、会場の皆さんと一緒に歌う時間もありませんでした。

20年という月日をさまざまな方々に支えられてきたグループハウス尼崎ですが、今後も皆様の支えのもと、頑張っていく気持ちを新たにできた周年祭だったと思います。

お世話になってる皆様、今後ともよろしく願います。(グループハウス尼崎 スタッフ一同)

遠くひたちなか市から

記念誌の感想文が

理事長 中村大蔵

「記念誌お送りいただきありがとうございます。『尼崎に来て来年で五〇年』とありましたが、まさに光陰矢のごとし、でしゅうか。

文章を寄せておられる、ボランティアの方々が『自分も成長させてもらった』と、書いておられるのには心から同感を覚えました。

私事で恐縮ですが、小学生の学習支援のお手伝いをさせてもらって、五年になります。水戸市社協の事業ですが、長年の学習塾での経験が、お役に立つのは嬉しいことです。

その前の病院でのお手伝い、デイサービスで傾聴ボランティアなど、私自身が勉強させてもらったと感謝しています。

『出会いが人を育てる』、本当にその通りですね。

宮城県ひたちなか市にお住いの中村朝子さんからの穂躑躅（ほつじ）が描かれた葉書です。いつも草花の絵と共に頂きます。

朝子さんとはまだ一度もお会いしたことがありませんが、便りをいただくようになって八年目になります。

最初の手紙はたしか、現金書留でした。

「東日本大震災で現地に行くことが出来ないで、これを使って下さい」と添えて以来、最近までこれは続きました。

後からわかったことですが、朝子さんは私と同じ高校の一年後輩でした！

祝 園田苑開設

李裕瑞さん
透き通った声が素敵でした。また、歌声を聴かせてください。



(右から)稲村尼崎市長と気沼沼第二保育所の千葉所長と畠山副所長。保育所のお二人は法人の保育士との交流や運動会にも参加してくださいました。



ボランティア「園」代表の川崎かをりさん



インスタ映えする『なめらか食御膳』。食べるのがもったいない。でも食べてみたい!



愛生園より今年も鈴木幹雄さん



楽器だけでなく身近なもので楽しい音楽を奏でるさむむらさん

行事はそれぞれが任せられた仕事をすればなんとか当日は運営できます。しかし、その陰で何倍もの準備を限られた職員が担っていること、ボランティアさんやご家族の協力があることを職員は経験の中から身につけます。担当者がどう動いているのか、自分に手伝えることはないのか確認し、協力できるようにする。日々の仕事にも通じることだと思います。これから年末年始にかけて、入居者忘年会や餅つき、しめ縄づくりなど行事が盛りだくさんです。たくさんの人を巻き込んで盛り上げていきましょう。(河合 恵子)

縁の下の力持ち
今年、園田苑は、創立30周年を迎えました。そんな大きな節目の年に行事担当として働かせていただきました。台風の影響により、予定されていた担当者での打ち合わせが1回抜けてしまった事に対し、どうなることかと少々不安な気持ちにもなりましたが、無事に式典を終え安堵しました。私は、飲料の発注と式次第の作成を担当させていただきました。式次第の作成は緊張して上手く字が書けず、なんとか仕上げることができました。(馬場 ゆかり)



インドネシアからの留学生サリさん(左)も参加

行事のお知らせ
2018年12月15日(土)
入居者忘年会
17時~園田苑にて

法人理念

阪神共同福祉会は
すべての人の命を大切に
地域福祉の担い手となる

編集後記

プライベートでも、仕事でも秋は何かと行事で忙しい季節。落ち着いたかと思えばあっという間に行事盛り沢山の年末年始。インフルエンザが流行りませんように。(きりん)

暑い季節から、足早に秋が通り過ぎて冬の寒い時期がやってきそつです。季節の変わり目です。私もそうですが皆様も寒さ対策をしていきましょう。(だるま大使)

子どもが色々何でもできるような嬉しさと寂しさ...娘が友達と遊ぶようになり私と遊んでくれなくなりました。(ものぐさガエル)

今、その時を逃さない。後悔しない。誕生日当日にカレーを食べさせてあげたいと思った部屋担当。その思いを行動につなげた職員。笑顔の写真だけではわからないそんな出来事を一緒に共感できる仲間が心強い。自信をもって前に進もう。(きんたろう)